



『道』を学ぶ!

特定非営利活動法人 奈良好き人のつどい

古代の道が国土づくりや地域開発に果たしてきた役割を学ぶツールとして、冊子『つなぐ つづく道』を作成し、地域の高校で特別授業を行うほか、シンポジウムや遺跡探訪ウォークを実施することで、道路管理に関する知識の普及・啓発を行った。



日本風景街道「新因幡ライン」沿線に残る茅葺き古民家を活用した農村コミュニティの活性化

特定非営利活動法人 奥播磨夢倶楽部

住民と協働し国道沿いに現存する2つの茅葺き古民家等の資源を活用し、地元食材や特産物を味わう食体験や、農村暮らし体験、ミニフットパスを取り入れた「ぶらぶら散歩」などを実施することで、農村文化の継承や農村風景の景観保全の必要性を伝えることにつながった。



琵琶湖淀川水系での治水・利水を学ぶ学習ツールの開発と活用

結 creation

河川活動団体、地域や河川管理者の方々の協力のもと、瀬田川の治水利水を学び親しんでもらうツールとして学習冊子「さぼうたんぼう」を制作し、近隣学校や地域関連団体へ配布。また、冊子の舞台である大津市田上地区の子ども達を対象に周知イベントを開催。



「あんしんすこやかセンター」における高齢者・障害者の防災時避難バス通行路および車椅子移動手段を配慮した「救命避難マップ」策定と防災学習の推進

NPO 法人 防災白熱アカデミー

施設利用者や介護家族を対象にヒヤリング調査等を行い、自然災害時の心配事、地域独特の課題を明確にした。また、避難ルートの道路点検等を行い、地域の危険箇所を洗い出し安全マップを作成するとともに、防災学習、避難訓練シミュレーション等も実施した。



天ヶ瀬ダムへ漂着のゴミ問題とシンポジウム

NPO 法人 瀬田川リパブレ隊

「琵琶湖・瀬田川のゴミは何処へ」をテーマに天ヶ瀬ダム漂着ゴミについて、国、市、湖岸清掃活動団体を交えシンポジウムを開催し、状況報告や意見交換を行った。またシンポジウムに関連し、大津市環境美化センターのゴミ処理現場や天ヶ瀬ダム漂着ゴミの回収及び分別作業の現場見学会を行った。



三条通から始める近代建築のネットワーク化

特定非営利活動法人 京都景観フォーラム

京都に存在する近代建築への市民の価値共有度と保全処置の向上を目的に、近代建築の一般公開事業を展開している専門家や地域で活動している方々を交えシンポジウムを開催した。今後の課題や、所有者、地域、行政等との連携の必要性を確認し、ネットワーク化の第一歩となった。



外国人にも安心! 都心のまち歩きサイン提案

北大江地区まちづくり実行委員会

天満橋駅周辺における自主的な都心の環境形成を目的とし、地元の高校等で避難場を想定した実施訓練を行った。また、増加する海外訪問者を考慮して、坂の多い地区でも大災害の非常時に誰もが助け合えるよう、案内サイン等のデザインをワークショップで検討した。



手長エビ特産化研究事業

大江まちづくり住民協議会

手長エビを大江の特産物とすることを目的とし、川の生物研究者や地元漁師等の専門家から指導を受け、手長エビの養殖や飼育環境の研究を行うと同時に、府立海洋高校で孵化し定着した稚エビを受け入れ、実際の手長エビを用いた飼育試験を行った。



河陽鉄道開通120年、明治の鉄道遺産研究・啓発プロジェクト

NPO 法人 おいなーれ柏原

河陽鉄道開通120周年にあたり、河陽鉄道研究者間の交流の場、街歩きツアーを設け、明治時代から現存する鉄道建設の史実や遺産を調査し、この調査報告論文が、後世にも継承されることを目的に、「河陽鉄道開通120年記念事業・記録集」を発刊した。